



# 保育園だより 8月号

仙台袋原あおぞら保育園 令和6年7月31日

雨の日が多い7月でしたが、梅雨の晴れ間には水遊びを楽しみました。子ども達はとても楽しみにしているようで晴れた日には「今日水遊びする？」が朝の合言葉のようになっています。水に触れることにも慣れてきて、園庭やテラスからはいつも元気な声が聞こえてきます。今月も夏ならではの経験を楽しめる日がたくさんあると良いですね。まだまだ暑い日が続きます。熱中症や感染症には十分に注意しながら、元気に乗り切っていきましょう。

## 今月の予定

- 1日(木) 夏まつりごっこ
- 6日(火) 避難訓練(火災)
- 21日(水) 誕生会、お茶会

- ★リズム集会
- 7日(水)、20日(火)、27日(火)
- ★みかん組
- カラダづくり教室…23日(金)
- ★の活動では、動きやすいスポン・長い髪  
の毛は結んで登園してください。

## 食育活動(みかん組・すいか組)

保育園では年齢に合わせて様々な食育活動を行っています。先日はみかん組でにんじん掘りを、すいか組でじゃがいも掘りを行いました。育てた野菜を使った食育活動は楽しさいっぱい。苦手な野菜もおいしく食べられる子どもたちの姿が多く見られています。



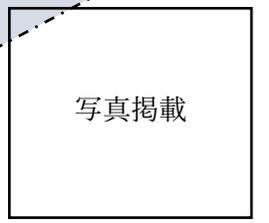
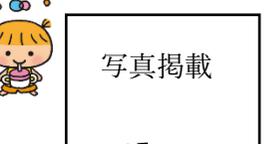
### いちご組

初めての楽器遊びを楽しみました。音楽に合わせてタンバリン、鈴、カスタネットを嬉しそうにたたいて鳴らしていました。



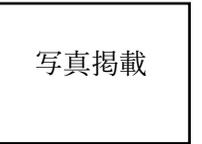
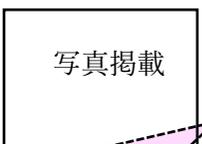
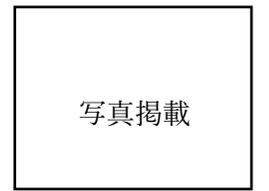
### さくらんぼ組

クラスで育てたピーマンを使ってスタンプ遊びをしました。半分に切ったピーマンに興味津々の子どもたち。「くんくん」と匂いを嗅いでいました。とてもかわいらしい作品が完成しました。



### ぼなな組

今年度、ニラを栽培しています。一か月程で大きく生長し、先日収穫をしました。ニラを抜いた瞬間に辺りに立ち込めるニラの匂いに驚きと笑いが止まりません。「変なおい」と不思議がいっぱいの子どもたちでした。



### めろん組

カラーセロファンをハサミで切って、手作り風鈴作りに挑戦した子どもたち。ハサミを使うのがとても上手になり、嬉しそうに「切れたよ」と教えてくれました。風鈴は保育室に飾る予定です。お楽しみに。

お知らせとおねがい

- ☆7月11日に布団乾燥を行いました。実施費用は8月に口座引き落としをさせていただきます。(1枚¥220)よろしくお願いします。
- ☆8月1日の夏まつりごっこに福祉大の学生ボランティアさんが入ります。
- ☆8月は欠席するお子さんが多くなります。給食の食材発注の為おおまかな人数を把握したいと思いますので、あらかじめお休みする日が分かっている方は**保育室内に掲示しているお休みチェック表に斜線の記入をお願いします。**なお**合わせておがスマでの欠席連絡の入力もお願いします。**

☆  
☆

## 不審者訓練について

7月に不審者侵入対応訓練を行いました。保育園門や窓等からの侵入を想定し「子どもたちの安全を守る」「不審者を園内に侵入させない」というねらいで実施しました。侵入させないために、使用していない部屋はできるだけ窓を施錠する対応を行っておりますので、朝夕に使用していない部屋が暑く感じることもあるかと思いますがご理解をお願い致します。

## 災害発生時の対応について

当園は浸水想定区域に所在しています。「警戒レベル3 高齢者等避難」が発令されると、休園やお迎えの要請をさせていただきますことがあります。詳しくは、先月配布しました「災害発生時の対応について」をご覧ください。これから台風や大雨の時期となります。保育園からおがスマ等で状況を配信しますので、ご確認をお願い致します。

## ～夏に流行する感染症と症状～

- ヘルパンギーナ
  - …高熱が続き、喉の奥に口内炎ができる。
- 手足口病
  - …手足の水疱と口内炎、下痢症状や熱が出る場合もある。
- プール熱(咽頭結膜熱)
  - …高熱を伴い、喉と目に炎症を起こす。
- 流行性結膜炎
  - …目やにが出て、結膜が充血する。感染力が強く、乳児が感染すると風邪症状を伴う事が多くみられる。
- ★予防のポイント★
  - ・夏の感染症は、感染者の咳やくしゃみを吸ったり、ウイルスや細菌がついたタオルやドアノブに触れたりして感染が広がります。タオルの貸し借りはしない、こまめに手を洗う習慣をつけましょう。(指、爪の間、手首まで)
  - ・体全体の免疫力を高めるために、休養を充分にとりましょう。日頃から感染症予防に努めると同時に、規則正しい生活や食事を通して十分な栄養摂取を心がけて、感染症に負けない体を作っておくことも大切です。この期間は家族の夏休みに合わせて生活リズムが変わりやすくなるので、意識して早寝早起きの習慣を維持しましょう。

## 熱中症に気を付けましょう

気温や湿度が高くなり、体調がすぐれないときには熱中症を起こしやすくなります。症状は腹痛や頭痛、めまい、吐き気、筋肉のけいれん等が見られます。屋外だけでなく、室内でも発症することが多くあります。子どもは的確に自分の症状を伝えられないので、高温・多湿の環境下、変わった様子が見られるときには熱中症を疑ってみましょう。症状がある際は涼しい場所に移動し、身体をアイスノンやタオルで冷やす、イオン飲料で水分補給をする等の処置をします。

**保育園では各保育室に温度・湿度計を設置し、エアコンを利用しながら室内環境を調節しています。また、お茶のポットを常備し、こまめに水分補給の時間を設けたり、戸外遊びは日差しの強い時間を避け、涼しくなった時間に行なう等を行っています。**

体力が落ちているときにもかかりやすくなるので、ご家庭でもしっかりと栄養や水分、睡眠をとる等予防に努めて、元気に夏を乗り切りましょう。

